

会員卓話

小島 達也 会員

焼酎のはなし



私の商売に関係する話をとったのですが、「酒税の話」「静岡の吟醸酒」「ビール・洋酒の話」「ワインの話」等が過去話されていたので、今回は「焼酎」の話をしようと思います。

焼酎は、九州・沖縄を中心に日本全国で造られています。沖縄諸島、奄美群島（鹿児島県）及び老岐の島（長崎県）の本格焼酎を取りあげました。それぞれの島では、琉球の泡盛、奄美黒糖焼酎、老岐麦焼酎という、歴史に育まれた特徴のある焼酎が造られています。焼酎は蒸留酒の一つですが、蒸留酒は、数千年の歴史があると言われていた醸造酒と比較すると新しい酒です。

アレキサンドリアにおける錬金術（紀元前3～紀元7世紀）から蒸留技術が誕生し、13世紀半ばからヨーロッパや中国の文献に蒸留酒が登場します。日本には、15世紀頃海外交易が盛んであった、琉球王国に東南アジアや中国から蒸留技術が伝来したとされています。

◆単式蒸留焼酎

平成18年に改正された酒税法で、焼酎は単式蒸留しょうちゅう（旧乙類）と連続式蒸留しょうちゅう（旧甲類）に名称が変更になりました。デンプン質原料あるいは、糖を含む原料を麴と酵母を用いて発酵させたものなどを、単式蒸留機で蒸留したアルコール分が45度以下のものを単式蒸留焼酎と呼んでいます。

◆琉球泡盛

泡盛の特徴は、濃厚な香味にあります。飲み方は、古酒はストレートがおすすめ。それ以外は、オンザロックか水割りでどうぞ。



◆奄美 黒糖焼酎

味は香りから想像するより、さっぱりしているのが特徴。どちらかというと、お湯割りより水割りがおいしいのではないでしょうか。



◆老岐 麦焼酎

常圧蒸留による麦こがし様の香りに特徴があります。米麴の使用により、豊かな味わいがあります。特にお湯割りにすると、香りと味の特徴がより現れます。

委員会報告

- ・国際奉仕委員会（加藤委員長）
タイのバーンロムサイについて
- ・広報雑誌委員会（浦田委員長）
3/1少年ラグビー大会の様子が「ロータリーの友」5月号に掲載されました。

出席報告…………… 杉山 貴章 副委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	4/27	48名	39名	9名	—	5名	84.0%
前 回	5/11	45名	39名	9名	80%	(名)	—
本 日	5/18	44名	38名	6名	78%	(名)	—